

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年4月24日(2008.4.24)

【公表番号】特表2008-501716(P2008-501716A)

【公表日】平成20年1月24日(2008.1.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-003

【出願番号】特願2007-515646(P2007-515646)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/545 (2006.01)

C 0 7 K 14/715 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 19/02

C 0 7 K 19/00 Z N A

C 0 7 K 14/545

C 0 7 K 14/715

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月3日(2008.3.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

自己炎症性障害、疾患または状態を処置、阻害または改善するための医薬の製造における、2つのIL-1レセプター成分と多量体化成分とを含むインターロイキン1(IL-1)融合タンパク質アンタゴニストの使用であって、

前記融合タンパク質アンタゴニストが配列番号10に記載の配列を含み、

前記自己炎症性障害、疾患または状態が、新生児発症性多系統炎症障害(Neonatal Onset Multisystem Inflammatory Disorder)(NOMID/CINCA)、マックル-ウェルズ症候群(MWS)、家族性低温自己炎症性症候群(Familial Cold Autoinflammatory Syndrome)(FCAS)、家族性地中海熱(FMF)、腫瘍壊死因子レセプター関連性周期熱症候群(tumor necrosis factor receptor-associated periodic fever syndrome)(TRAPS)もしくは全身発症性若年性特発性(systemic onset juvenile idiopathic)関節炎(ステイル病)である、使用。

【請求項 2】

前記医薬が皮下投与、筋肉内投与または静脈内投与のためである、請求項1に記載の使用。

## 【請求項 3】

前記医薬が  $1\text{ mg / kg} \sim 20\text{ mg / kg}$  の用量での、治療有効量の前記融合タンパク質アンタゴニストの投与のためである、請求項 1 に記載の使用。

## 【請求項 4】

C I A S - 1 内の突然変異に関連する自己炎症性障害、疾患または状態を処置、阻害または改善するための医薬の製造における、配列番号 10 に記載の配列を含むインターロイキン 1 ( I L - 1 ) アンタゴニストの使用であって、

前記 C I A S - 1 内の突然変異に関連する自己炎症性障害、疾患または状態が、新生児発症性多系統炎症障害 ( N e o n a t a l O n s e t M u l t i s y s t e m I n f l a m m a t o r y D i s o r d e r ) ( N O M I D / C I N C A )、マックル - ウェルズ症候群 ( M W S )、家族性低温自己炎症性症候群 ( F a m i l i a l C o l d A u t o i n f l a m m a t o r y S y n d r o m e ) ( F C A S ) である、使用。

## 【請求項 5】

前記医薬が皮下投与、筋肉内投与または静脈内投与のためである、請求項 4 に記載の使用

。

## 【請求項 6】

前記医薬が  $1\text{ mg / kg} \sim 20\text{ mg / kg}$  の用量での、治療有効量の前記融合タンパク質アンタゴニストの投与のためである、請求項 4 に記載の使用。